LED Japan /Strategies in Light 2013 カンファレンスの見どころ

エラ・シュム

2013年、開催時期を9月から10月に移して10月16日～18日の3日間、パシフィコ横浜において、LEDジャパン2013/Strategies in Light が開催される。本年も国内外からバラエティに富んだマーケットリーダーが講演を行うが、ここでカンファレンスの見どころを紹介する。

本年で6回目となる「LED Japan/Strategies in Light」のカンファレンスはプログラム構成を昨年から変更し、メインのトラックとして1本に集約し2日間で開催される。ただし、関心が強いセッションがある日だけを1日聴講することができる選択肢も用意している。本年のカンファレンステーマは「拡大するLEDおよびLED照明市場の成長」とし、海外からも多くの投稿が集まった。またLEDの人体への影響が懸念されることから、今までにはなかったヒューマンファクターズのセッションを新設している。

今年のプレナリーセッション

2012年はLEDの発明から50周年をむかえた特別な年であった。本年は青色LEDの先駆者であり、80年から90年代初頭にかけ著名な赤崎教授と共に開発を行った名古屋大学教授、天野浩氏が基調講演を行う。一般照明用途が急速に増加し、今後の市場拡大には新たな技術開発が必要である。本カンファレンスではより理想の光源、究極の光源の実現を目指した取り組みなど、「これからのLED開発」と題して今後の展望について語ってもらう。

現在の日本はアメリカ、ヨーロッパ、中国などに比べると街路照明の普及率はまだ低いが、今後の拡大が期待できる分野として注目されている。その中で基調講演に続き米フィリップス・ルミレッズのシニアディレクタ、レイ・チョック氏が屋外照明における光の質の重要性、そして都市の安全と交通事故減少にどのように照明が貢献できるかについて紹介をする。また毎年恒例となっている米ペンウェル社傘下のリサーチ機関、米ストラテジーズ・アンリミテッド社によるLEDマーケット全体の展望と世界的な照明市場についての講演も予定されている。

LED照明の身体への影響

今日、LED照明は私たちの生活に身近なものになってきている。その只中、LED照明がわれわれの身体にどのような影響を及ぼすかという点にフォーカスした新しいセッションを設けている。

その講演のひとつとして、慶應義塾大学/ブルーライト研究会の坪田一男氏が「ブルーライトの問題点： 眼はカメラであり時計である」というタイトルの講演を行う。それに続き独フラウンホーファーIAOのシニアリサーチャー、オリバー・ステファニ氏が「オフィス空間で好まれるLED照明の色温度の検証」という2年間における研究成果の発表を行う。

照明技術への新しい開発

スマート照明の見地からエネルギー節減の分野において東芝ライテック照明事業本部、近藤世樹氏が「照明制御システムと画像認識技術によるセンシングの紹介」と題した講演を行う。また、照明分野ではLEDドライバの開発に多くの注目が集まる中、いかに効率的に安価で製造できるかが活発に議論されている。ここでは、マーベル社の副社長、キショア・マングナニ氏によるLEDドライバの最新の技術についての

LED Japan/Strategies in Light Japan 2013 カンファレンス
開催概要
日時:2013年10月17日(木)-18日(金)9:30-17:00
会場:パシフィコ横浜 アネックスホール
主催:株式会社ICSコンベンションデザイン／ PennWell Corporation
企画:Strategies Unlimited
申し込み:7月中旬より受付開始(聴講有料、早期割引あり)
同時開催:インターオプト 2013、BioOpto Japan 2013、LaserTech 2013

課題提起がある。

LED照明においての技術的な進展を得るためには、新しい光源の活用方法を絶えず考えている照明デザイナーの存在は欠かせない。照明デザイナーで著名な岡安泉照明デザイン事務所の岡安泉氏がLED、OLEDを利用した最近の作品を中心に、新光源を扱うときに考えてきたことを解説する。

製造プロセスのトピックス

基板の分野では、GaN-on-GaNやGaN-on-Siが白熱した話題になっている。世界的な技術者の一人であるソラー社のCTO、マイク・クラメス氏が、GaN-on-GaN技術が次世代の照明製品にいかに導入されるかについて解説をする。そしてプレッシーセミコンダクターズ社のチーフエンジニアであるジョン・エリス氏はGaN-on-Siの巧妙な導入の目新しい取り組みを紹介する。

最新のイノベーション紹介

2013年のカンファレンスでは、最近注目される新たな2社が海外から日本に紹介される。クーレッジライティング社とネオフォーカル社である。クーレッジライティング社はLightFair 2013においてフレキシブルライトシートでデザインエクセレンスイノベーションアワードを受賞した会社だ。ネオフォーカル社は制御と電源供給について講演する予定である。

また、モバイルワイヤレス通信機器の爆発的な普及に伴い、周波数逼迫問題が顕著になるにつれ、その解決手段の一つとしてLED通信技術に注目が集まっている。屋内外で利用可能なLED通信技術として沖縄のランプサーブ社が取り組んで来た、LED街灯との連動によるLTE/Wi-Fiバックホール通信モジュール等の開発事例の紹介をする。

照明以外のアプリケーション

小糸製作所が2007年に量産化した世界初のLEDヘッドランプから6年間が経つ。LEDへの移行が急速に進む中、光源、熱マネージメント、光学設計、ドライバ回路、システム設計など、最新の技術動向について小糸製作所、研究所の佐々木 勝氏が講演を行う。

著者紹介
エラ・シュム(Ella Shum)は米ストラテジーズ・アンリミテッド社(Strategies Unlimited)の実務担当のディレクタで、Strategies in Light Japanカンファレンスチェアー。

LEDJ